

雪見灯籠

ゆきみとうろう

市指定

所在地：味間南



背の低い三脚立ちの観賞用燈籠である。大きい方は火袋^{ひぶくろ}に鶴の絵柄が透かし彫りされる。八蓮弁をかたどった火屋^{ほや}台^{だい}や穏やかなカーブを描く天蓋、その上に乗る擬宝珠などに桃山時代の特徴を見ることができる。

屋蓋の上には「天正元年与次郎作」の陽鑄銘がある。与次郎は豊臣秀吉に「天下第一」の称を賜った名工で、当灯籠は製作年代と製作者のわかる数少ない作品である。小さい方は、銘はないものの、与次郎の手によるものと見られる。

文保寺観明院蔵。